

令和3年10月1日

保護者の皆様

宮崎県PTA連合会
会長 岡本 吉弘
宮崎県校長会
会長 古木 克浩

新型コロナウイルス感染並びに学校の対応等に対するSNS上の誹謗中傷について(お願い)

清秋の候 保護者の皆様におかれましては、日頃から本県のPTA活動並びに学校における教育活動に、ご理解とご協力をいただき心から感謝申し上げます。

さて、8月に入り、デルタ株に変異した新型コロナウイルスによる急激な感染拡大が起こり、若年層への感染とともに重症者が増加したことで、県は独自の緊急事態宣言を発令してこの難局に対応してきました。9月中旬に入り感染者の減少傾向が続いてはいるものの、今後第6波の感染拡大も心配されており、県内の各学校は、県や市町村と連携しながらできる限りの防疫対応を行っているところです。一刻も早い新型コロナウイルス感染の収束と平穏な学校生活が戻ることを祈るばかりです。

このような中、学校の子供たちが感染したことに対し、個人を特定し、「感染を広げたのは〇〇だ」「〇〇のせいで感染した」「予防の自覚が足りなかったのだ」などといった差別や偏見にもつながる誹謗中傷が起こっています。こうした悲しい事態を防ぐためには、まずは大人がいたわりと優しさの心をもって、新型コロナウイルスに立ち向かう上での範を示すことが肝要です。

また、学校の対応や教師個人の指導等に対し、保護者がSNS上に誹謗中傷とも取れる文を記載し拡散する事象も起こっています。学校と保護者の信頼関係の下で健やかな児童生徒を育むことを最も重要視すべき今、由々しき事態であると考えます。

県PTA連合会では、児童生徒がネット社会を生きていく上で、「ネットモラル・メディアリテラシー教育の推進」を掲げており、保護者がSNSで学校や教師を誹謗中傷することは、子供たちの模範にならないばかりでなく、人としてやってはならないことだと考えます。

つきましては、今一度、子供とともに「ネットモラル5か条」を確認していただくとともに、保護者自身がコロナウイルスに感染した人、並びに学校や教師に対する誹謗中傷等のSNS上への記載を厳に慎み、私たち大人がよりよい範を示すことについてご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。

☆ 子どもを守るネットモラル5か条

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">① 学校や家庭でのルールを守ろう② メールやライン等で人の悪口や傷つくことは書かないようにしよう③ 人の住所や電話番号等の個人情報を書かないようにしよう④ ケータイ・スマホは、夜9時になったら電源を切ろう⑤ 何かトラブルがあったらすぐに相談しよう |
|---|

宮崎県PTA新聞(きずな)から